

# 2歳児クラス 5月 第1回「ももたろう」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの反応に合わせてスピード感や迫力感をおりませ読む。</li> <li>個々の動物にあった動作や鳴き声（擬態語・擬声語）を入れ、問答しながら進行。</li> <li>途中「ももたろう」の応援をするなど、その場を盛り上げ「ももたろう」と同じ気持ちになるような雰囲気作りをする。</li> <li>最後に歌詞・譜面がついています。皆で歌って楽しく終える。</li> </ul>	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵本</li> <li>★iPad(シアターセット)</li> </ul>	保育士の役割 子どもと一緒に歌ったり応援したり盛り上げる	
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本の表紙を見せ「♪ももたろう」のうたを歌いながら元気に登場。雰囲気を作り上げ、お話への期待感を持たせてから始める。</li> <li>※ハチマキなどでももたろうになりきり登場しても良い</li> </ul>		

## がくしゅうタイム

活動①	ねらい	記憶	お話を思い出して正しい方を選んで色を塗る	
設問	「ももたろう」はどの果物から生まれましたか。選んで色を塗りましょう。			
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「鬼退治できてよかったね」</li> <li>保：「ももたろうさんからお届け物が届いていますよ」とプリントの入った封筒を手渡す。</li> </ul>			教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「なにかな？」封筒の中を覗き「お手紙が入っているよ」とプリント提示。子どもたちにも配布。</li> <li>子：一つずつ指さしながら名前確認。</li> <li>講：お話を思い出させ「ももたろうが生まれたのはどっち？」。クイズ形式で楽しく進行。絵本を開き正解を確認（色も確認）「」</li> <li>講：「こっち！ももだね。きれいな色塗ってあげよう」とクレヨンで見本行動。</li> <li>保：クレヨン配布。</li> <li>子：「うでまくり、クレヨンぎゅー、片手はポン（紙を押さえて）」キーワードに合わせて準備をして色を塗る。</li> <li>時間に余裕があれば、「どんな味がするかな？」など感覚行動を入れる。</li> <li>講：「みんなでごしごし塗れたから、ももたろうさんに届けてあげようね」とプリント回収。</li> </ul>			保育士の役割
				<ul style="list-style-type: none"> <li>お届け物（封筒）を届ける</li> <li>プリント配布</li> <li>クレヨン配布</li> </ul>
活動②	ねらい	数	「3こ」数を数えて1対1対応でシールを貼ることができる	
設問	ももたろうのおともをした3匹に、きび団子を1つつあげましょう			
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>保：「♪ももたろう」のうた歌いながらプリント提示。「ぼくたちこれから鬼退治に行ってきます。」</li> </ul>			教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「ももたろうのおともしに行くんだね！」3びきの名前を確認。</li> <li>講：「おなか空いてるんだって、何あげたらいい？」と問いかける。</li> <li>講：「そうだね、きびだんごあるかな？」</li> <li>保：「ありますよ！」とシール提示。</li> <li>講：「動物何匹いるかな？一本指っぴっ！1・2・3（指さし確認）…全部で3匹。シールの数は…」とプリントの動物の数とシールの数を確認。一致していることを確かめ「♪さるさんにひとつ、はいどうぞ」と1対1対応で貼っていく。</li> <li>講：「仲間がまだたくさんいるんだって」と配布プリント提示。「元気が出るようにみんなできびだんごわけてあげよう！」</li> <li>保：プリントとシールを配布。</li> </ul>			保育士の役割
				<ul style="list-style-type: none"> <li>プリント提示</li> <li>シール提示</li> <li>プリント、シール配布</li> <li>数を数えられているか確認。フォロー。</li> <li>プリント回収</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子：数を確認後、1匹に1枚ずつ貼っていく。</li> <li>・講：「みんな元気でたかな？気合を入れてみよう」「みんなで一緒にエイエイオー！」と達成感を味わうように拳を掲げ盛り上げる。</li> <li>・「♪ももたろう」の歌に合わせてプリントを持ち、リズムに合わせて動かす。</li> <li>・講：「ももたろうさんと鬼退治頑張ってるね、いってらっしゃーい」とプリント回収</li> </ul> <p>※&lt;活動②&gt;と&lt;活動③&gt;入れ替え可能</p>	
--	--

	<b>活動③</b>	ねい	<b>巧緻性</b>	昔話に親しみお話の展開に興味をもちごっこ遊びを楽しむ	
設問	モモカードを開いたり閉じたりして遊びましょう。				
つな	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講：「ところでももたろうさんはどこに行ったのかな？」</li> <li>・保：「♪どんぶらこ～」とモモカード（プリントとセットのもの）提示。</li> </ul>				<b>教材</b>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講：「あれ？何か流れてきたよ…」とモモカードを受け取る。 ※カードが動かしやすく見やすいようにボードなどに固定させる。 ※お話のストーリーを思い出させ子どもたちのこどばを拾いながら活動進行。</li> <li>・講：「もしかしたら？…ももたろうさんいるかな？」ワクワク感を持たせながら切る真似。「ばっかっ！」とカードを開いて「こんにちはー」とももたろうを見せる。開けたり閉めたり繰り返し興味を持たせる。</li> <li>・講：「みんなの所にも流れてきたよ」</li> <li>・保：「♪どんぶらこ～」と流れるようにモモカードとプリントを届け取らせる。</li> <li>・講：「みんなのモモからも、ももたろうさん出てくるかな？」</li> <li>・子：モモカードを動かし、ごっこ遊びを楽しむ。 ※個々の動かし方を確認し必要に応じて補助をする。</li> <li>・「ももたろう大きくなれ」とご飯を食べさせたり、カードだけを単独で動かし『いないいない、ばー』の要領で遊びを発展させるのも楽しい。</li> <li>・講：「いぬ・きじ・さるさんが待ってるからそろそろ行かなくちゃ」とプリント回収。「いってらっしゃーい」とプリントを保育士に手渡す。</li> </ul>				<b>保育士の役割</b>
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・モモカード（プリントとセット）提示</li> <li>・モモカード、プリント配布</li> <li>・カードの動かし方フォロー。</li> <li>・プリント回収</li> </ul>

	<b>数チャレ</b>	ねい		<b>教材</b>
設問				
活動内容	※<活動②>を数にチャレンジとします。			
				<b>保育士の役割</b>